



プランターで育てた里芋
こんなにとれました

1月号 トムソーヤ



今年も
餛飩づくりに挑戦

平成29年12月20日発行

朝晩の冷え込みも厳しくなり、いよいよ冬の到来です。「氷がはっていたよ!」「ハーってすると息が白いよ!」と子どもたちは冬の発見を嬉しそうに知らせてくれます。『子どもは風の子』・・・まさにそのとおりです。今年の冬は例年よりも寒くなりそうですが、寒さに負けず冬を楽しく元気に過ごしましょう。

1月の予定



園庭開放

1月11日(木)・26日(金)

10:00~11:30

保育園のお友だちと遊びませんか? 事前申し込みは
いりませんので、直接保育園にいらしてください。

保育所体験(給食体験)

1月16日(火) 11:00~11:50

給食代330円(一家庭一食です)

保育園の給食を食べてみませんか。前回の体験では1歳児のお友だちが参加をしてくれ、「自分で」と言いながら、もりもりと食べていました。初めて来園される方も大歓迎です。

食材の注文など調理の準備がありますので、1週間前までに電話でお申し込みください。



先回の給食です

北八王子公園へ出前保育に行きました。本を読んだり落ち葉で遊んだりして、たくさんのお友だちと仲良しになりました。



保育園では毎年、劇団「ばびぶペポン」さんに来ていただき、人形劇を皆さんに楽しんでもらっています。今年の公演の様子です。

「3びきのやぎのがらがらどん」
大きなトロールにビックリ!



「ねえ、ママ見ててね」

子育てのワンポイント

先日、多摩小ばと保育園では「こばとまつり」という行事を行いました。この「こばとまつり」は、日頃楽しんでいる、歌遊びや劇遊びをお家の方に見ていただくという内容です。子どもたちは、練習の成果をたくさんのお客さんに見てもらおうと、舞台の上でちょっと緊張しながら幕が開くのを待っていました。そしていよいよ開幕。子どもたちはまず舞台の上から、お家の方がどこにいるのかと探して、お家の人を見つくと「ニコッ」と微笑みを浮かべて安心した表情を見せていました。まるで、「ママはここで見ているからね」「うん、頑張るから見ていてね」と目と目でお互いの気持ちを通わせたように見えました。中には手を振り全身で嬉しさを現している子もいます。きっと「自分のことをお家の方がちゃんと見ていてくれるんだ」という安心感が持てたのでしょう。それからは顔つきも変わり、自信を持ちながら張り切って演じていました。お家でも「ねえママ見ててね」と言われることがあると思います。きっと「自分がここにいること、やっていることをお母さんに分かってほしい」という気持ちを込めた言葉なのでしょう。「ママ見ててね」という子どもたちの気持ちに答えてあげると、自分の思いが伝わった嬉しさや、安心感から自信に繋がっていくと思います。忙しい中で沢山の時間を作ることは大変ですが、毎日少しでも良いので子どもたちと向かい合う時間を作っていきましょう。